さっぽろ 東区に住んでてよかった

すずき健雄の

私の4+3=7つのライフワーク

4つのライフワークはこんな風に実を結びました

栄町バスターミナル（平成26年11月完成）。苗穂駅周辺まちづくり・東雁来第2区画整理事業・創成川通りアンダーパス化は私の長年のライフワークです。平成7年から私が提案してきた創成川連続アンダーパスは平成21年に完成し交通渋滞は大幅に緩和され、東側の活性化は目をみはるものがあります。平成9年から整備を訴えてきた地下鉄栄町駅交通広場は既成市街地での用地確保は困難を極めましたが、平成26年11月供用開始となりました。今後ともバス路線の見直しや、東区の観光スポットを結び地域の活性化や賑わいづくりに努めてまいります。苗穂駅周辺のまちづくりはＪＲ苗穂駅が３００メートルほど移動して今年11月に完成予定で、都心にふさわしい土地の高度利用を目指し再開発・再整備が進んでいます。東雁来第二区画整理事業はスポーツ・防災・福祉・水と緑を生かした潤いのあるまちづくりへさまざまな提案をしてまいりましたが、平成30年度、市の事業としては終了したものの時代の変化とともに発生する新たな課題にも継続的に取り組んでまいります。

平成26年11月 栄町駅交通広場完成祝賀会

東雁来第二区画整理事業でサッカー場整備とコンサドーレユースチームの誘致

NEW ライフワーク①
食と観光でさっぽろを元気に!!

H30年5月27日、札幌市調理師団連合会総会にて会長就任あいさつ

札幌の観光客の入込数は１５５０万人を超えようとし、そのうち外国人宿泊数は２６０万人に近づこうとしています。

札幌市の**観光消費額は４０８３億円**と言われ、その波及効果は計り知れないものがあります。

さて、外国人が日本を訪れる目的の一つは日本食を味わうこと。北海道・札幌市の観光を支えるのは、北海道の大自然が生み出した豊かで新鮮な食の魅力です。

しかし、この度の地震と停電が食と観光・経済に与えた影響はあまりにも深刻です。

市議会観光議員連盟会長として、会派の**経済・観光ＰＴ座長**としてさまざまなことを検証・想定し、しっかり対応してまいりたいと思います。

今年５月に私は、**札幌市調理師団体連合会の会長**に就任いたしました。

なぜ調理師団体なのか。50年以上も前にさかのぼります。道東のとある観光ホテルでアルバイトをしていた私はそこの料理長さんに可愛がられ、調理師の資格を取ることを勧められたのです。これまで活用したことのない調理師免許ですが、魅力ある食材に工夫を凝らし、衛生面に十分配慮して提供する側の目線は、今に生かされていると思っています。

札幌市調理師団体連合会の年間行事の一つに市民の皆さまを１５０人から２００人ほどホテルにお迎えして健康料理の試食会と作り方などを指導させていただく**「地産地消健康料理フェスティバル」**を開催しておりますが、**27回目の今年は東区の札幌黄**を使った料理を予定しております。

食は生命や健康を維持するすべての源です。

料理はその土地の旬の食材を生かした五感に訴える芸術であり、世界を繋ぐ架け橋でもあります。

食を提供する現場では、調理師さんの資質や技術の向上をはかり、大いに腕を振るっていただき、札幌市民・消費者の安全確保と信頼にも応えていかなくてはなりません。

札調連主催の料理教室に参加、フグの処理を受講

調理師の皆さんが料理を紹介

健康料理フェスティバルはいつも大盛況

構成団体

札幌中央割烹調理師会
札幌第一割烹調理師会
札幌割烹調理師会
定山渓調理師会
北海道寿鮨調理師会
全日本司厨士協会札幌支部
日本中国料理協会札幌支部
日本バーテンダー協会札幌支部
札幌そば麺類研究会
北全調札幌支部連合会

調理師の皆さんの**食材**を存分に生かして道内、道外、海外の観光客の皆さんに満足していただける料理を提供し、**札幌の食のブランドを高め札幌・東区の経済の活性化に貢献**してまいります。

NEW ライフワーク②
自然系博物館

群馬県立自然博物館 実物大のティラノサウルスの前で

さっぽろに、**大人も子供も楽しめる観光の目玉ともなる体験型の博物館**が欲しい。1期目の20年前から、全国の先進的な取り組みをする博物館を視察するたびに、私はそう感じてきました。

札幌市民が自然、歴史、文化の独自性について深く学ぶと同時に、札幌を訪れた人にその魅力を十分に伝える博物館をという目的のもとに30年以上も検討を重ねてきたものの、いまだに実現を見ていません。

札幌のある石狩低地帯は1億年前から形成が始まり、さっぽろで出土する化石は世界からも注目されています。

地球規模でみると北と南の接点ともいえる中緯度にあり、自然においても人においても北と南の要素が流入したことによって、独自の自然、歴史、文化を持つさっぽろ。それを統合的にとらえ、**既存の概念にとらわれないマルチな活動を展開する新たな博物館**が求められています。

子供たちが発掘された化石や恐竜の骨に実際に手を触れたり、先端技術を駆使した面白い展示を見ることによって、**創造性が育ち未来の科学者や歴史研究者への萌芽**ともなります。

博物館を中核として、**あらゆる世代が知的好奇心を刺激しあいながら交流することで地域にも活力**が生まれます。私たちは旅行をすれば当地で魅力的な博物館を探しますが、国内外から観光客を呼び込むことができる、**政令都市にふさわしい博物館の建設**が急がれています。

むかわ町立穂別博物館 むかわ竜

私の自宅でクリーニング中のアンモナイト化石

心も体も健やかに

会長を務めるモエレ新体操クラブで元オリンピックメダリストでウクライナのアンナ・ベッソノバさん（向かって右）を招いて指導をいただきました。

創立40周年を迎えた美香保公園ラジオ体操会

カーリングの道銀フォルティウスチームを激励

NEW ライフワーク③
歴史と文化の香るまちづくり

私のさっぽろのまちづくりの原点は幕末に生きた大友亀太郎です。

相模の国（神奈川県小田原市）に生まれた亀太郎が石狩の原野に入植したのは、北海道開拓使が置かれるよりも昔のこと。慶応2年（１８６６年）に元村（今の東区北13条東16丁目あたり）に移住し、大友掘りの掘削をします。この大友掘りは創成川の前身であり、創成川は、さっぽろの美しい碁盤の目状の街並みの基点となります。

24年前のある夏の日、私は大友亀太郎と出会い、大きな衝撃を受けました。そこは昭和の終わりごろに建設された札幌村郷土記念館でした。この土地を開拓した先人の血と汗がにじむような資料が展示されていて、笹ぶき屋根の小屋に住み、獣の気配におびえながら、泥まみれになって大友掘りを掘削する人々の中にタイムスリップしたような気がしました。

大友亀太郎のまちづくりの原点であると同時に、札幌の街並みの基点でもある創成川は私のライフワークの原点にもなりました。

大友亀太郎の仕事に遠く及ばなくても、せめて小さな足跡ぐらいは残せないかと思ったものです。そして、**私のライフワークの第１号が創成川連続アンダーパス化**となりました。

丘珠神社で催される丘珠獅子舞は、明治20年代に移民としてやってきた富山県人によって持ち込まれた安居獅子舞が源流であるといいます。東区にはほかにも開拓移民が、それぞれの郷土から運んできた伝統文化が存在しますが、その伝統を引き継ぎ、歴史を語れる人が年々少なくなっていることに危惧を覚えます。

日本初のタマネギ栽培については多少有名ですが、タマネギ農園の前に、大規模なリンゴ農園があったことを知る人は少ないようです。北11条東12丁目に**「林檎の碑」**があるのをご存知でしょうか。今から１３０年ほど前の明治17年に、リンゴ栽培の第一人者である橘仁という人がこの地でリンゴを造ったといいます。その娘である橘智恵子と石川啄木との間に口マンスもあったらしくて啄木はのちにこんなふうに読んでいます。

石狩の都の外の君が家
林檎の花の
散りてやあらむ

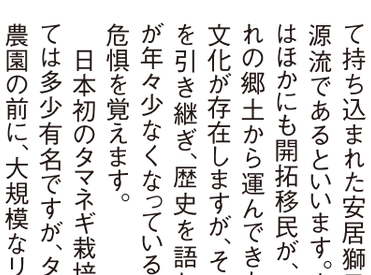
東区は１５０年の間に何度も大きな変貌を遂げてきました。50年以上前の高度経済成長期までは北海道でも有数の工業地域であったところは宅地に代わり、戸建て住宅は高層マンションへと変わっていきました。**２０３０年には北海道新幹線が札幌に乗り入れし、新駅「大東駅」が東区に誕生**し、東区の地図はまた華やかに塗り替えられていくことでしょう。

道都として北海道の経済や観光をけん引していく札幌市の役割を考えたとき、東区にも重要な役割があります。**札幌市唯一の空港である丘珠空港を経済、観光、医療、防災の拠点としてさらに有効に活用**していかなくてはなりません。同時に高速道路からの都心乗り入れアクセスという課題もあります。また、自然を生かした観光スポットである**モエレ沼公園、さとらんど周辺の活性化**のためにも、**土地利用の規制緩和や地下鉄栄町駅交通広場と観光スポットを繋ぎ賑わいをつくること**も必要です。

東区の歴史的遺産も自然の魅力あふれる施設ももっと積極的に内外に発信していく必要があります。

東区の歴史の物語をつくり、語り伝えていくのは私たちなのです。

北13東16の札幌村郷土記念館前の大友亀太郎像



北11東12の林檎の碑

元町まちセン前を多目的交流広場として整備を

一昨年、元町連町から、まちづくりセンター前の墓地跡地が売られてしまうのではないか、ゲートボールができなくなるのでは、これからも連町イベントに使えるよう売らずに整備をして欲しい等の要望をいただき即対応いたしました。

今年５月、再度ご相談をいただき札幌市管財部から東区管理となった理由を私から東区に説明をしたところ、今後は連町役員の皆さんと**定期的な話し合いを持って、できることから進めてまいります**との回答をいただきました。

私は、**多目的交流広場として札幌市・東区が予算を付け整備すべき**と考えています。しっかり応援してまいります。

平成30年8月、区長さんも参加され、まちセン前で元町ふれあい祭りが開催されました

犯罪のない安全・安心なまちづくり

7月24日、**札幌市議会更生保護事業を支援する議員協議会**と更生保護４団体（保護司会・更生保護女性会・雇用主会・ＢＢＳ）との懇談会を開催いたしました。

保護観察所長・札幌市市民文化局長をご来賓に迎え市議11名が出席しました。会長の私から冒頭のあいさつでこれまでの要望に対し、実現できたものを報告させていただきました。

1、子ども未来局から市民まちづくり局への所管替え
2、更生保護サポートセンターを10区に設置
3、入札加点制度
4、保護司はじめ更生保護に貢献した方々への札幌市長表彰。

（更生保護女性会については、来年の女性会新年会での表彰が実現の見通しとなりました）

その後、藤本保護司会連合会長から新たな要望をいただいた後、和やかに懇親会に入りました。

今後とも**議員協議会**結束して**４団体と行政とのパイプ役**を務め、**犯罪のない安全・安心なまちづくり**に全力を尽くしてまいります。

平成30年7月、会長としてあいさつ

「進路探究オリエンテーリング」事業の実現予算増へ

未来に夢や目標を持ちにくい、自分の資質を仕事に結びつけることができない、あるいは求職する側とのマッチングがうまくいかないなど、若者たちは将来に多くの不安を抱えています。**「人が、生涯の中でさまざまな役割を果たす過程で自らの役割の価値を見出していく」**手助けをする**「キャリア教育」**は以前から国主導で行われておりますが、北海道においてはさらに深刻です。専修学校、各種学校の実践的カリキュラムは時代とともに変化する産業や地域社会のニーズに敏感なものであり、卒業生の就職率も大変高いといわれています。私は**専修学校、各種学校と市教委がタイアップしたキャリア教育**を市教委に働きかけ、**平成25年度から、市教委主催の進路探究学習オリエンテーリング事業が中学生向けに実施**されてきました。

以来、利用者が非常に多いことから**新年度予算の増額**を目指してまいります。

特別養護老人ホームでの防災訓練に参加

特別養護老人ホーム・グループホーム・保育園・高齢者住宅等5施設と北消防署、北消防団、地域町内会など連携して大雨・洪水警報と避難準備警報が発令されたことを想定して**避難誘導や避難介助の訓練**をいたしました。災害弱者ともいわれる高齢の方、小さい子供たち、どうしても周りの人たちの手助けが必要な方々が対象です。

北区のこの訓練に参加して、東区においても、全市的にもたくさんの施設で進めていかなければと感じていたところ、年が明けた１月**東区の自立施設で11人が死亡する火災**が起きてしまったことは痛恨の思いです。

日頃からいざという時、それぞれがどう対応すべきか、どう協力しあうべきか対応能力の向上や協力体制の確認の意味において重要な訓練であり、継続して行うことが大事です。

東区栄東第三分区（12町内会）合同防災訓練を視察しましたが、19年間地元消防団や消防署とともに行う訓練であり、これを手本にしていきたいものです。さらに昨年は**栄緑小学校での札幌市・北海道合同防災訓練**を視察しました。直下型の地震を想定した北海道と札幌市の合同訓練は地域住民や、民間関係者、道警、北海道開発局、自衛隊のそれぞれの普段見ることのできない防災資機材が並び画期的な訓練でした。

特別養護老人ホームでの防災訓練に参加

19年間続けている栄東第三分区の防災訓練視察

隊友会より感謝状頂く

平成26年**札幌市議会自民党防衛議員連盟**を立ち上げました。

当初は立ち上げの中心ということもあって幹事長の職をいただいておりました。その年は8月に広島市で死者74名を出す土砂災害があり、9月には**御嶽山噴火**と災害が続いた年でした。御嶽山噴火では山頂付近にいた58名が犠牲となりましたが、何時また爆発するかわからない山頂を目指して、黙々と救助に向かう自衛隊員たちの勇姿がテレビに映し出され、**隊員一人ひとりの士気の高さ・使命感・責任感の強さ**に驚き、感動しました。

丘珠空港は札幌市の空の玄関であり、経済・医療・防災の面からも重要ですが、その**滑走路の除雪は丘珠駐屯地の隊員**の皆さまが**11月に除雪隊を編成**し3月いっぱい昼夜を問わず担当されています。さらに、さっぽろ雪まつりの雪像作りに、最も寒さの厳しい時期、深夜に及ぶ過酷な作業にもご活躍されており、いろいろな見方をする人がおりますが、まずは**私たち自身が自衛隊について勉強し、市民の皆さんにも正しく知っていただこうと、23名の議員**で立ち上げました。

これまでに雪像作りの激励、矢臼別演習場視察、富士総合火力演習視察、甲斐11旅団長を招いて「日本を取り巻く国際情勢」等の講演をいただいたほか、自衛隊の諸行事に出席をしています。

平成29年度総会で感謝状と記念品を頂く